

或本の歌に曰く

三二八八番

大舟おほぶねの 思おもひ頼たのみて さな葛かづら いや遠とほ長ながく 我あ
が思おもへる 君きみによりては 言ことの故ゆゑも なくありこ
そと 木綿ゆふだすき 肩かたに取とり掛かけ 齋いはひへ瓮を 齋いはひ
掘ほりすゑ 天あめ地つちの 神かみにそ我あが祈のむ いたもすべ
なみ